

証券コード：7472

“百年の信頼を未来につなげる”

# 2024年3月期 中間決算説明会資料

2023年11月9日(木)  
株式会社鳥羽洋行

**I.2024年3月期2Q決算について**

**II.今後の戦略及び見通し**

# I .2024年3月期2Q決算について

## &lt;連結損益計算書の概要&gt;

(単位：百万円)

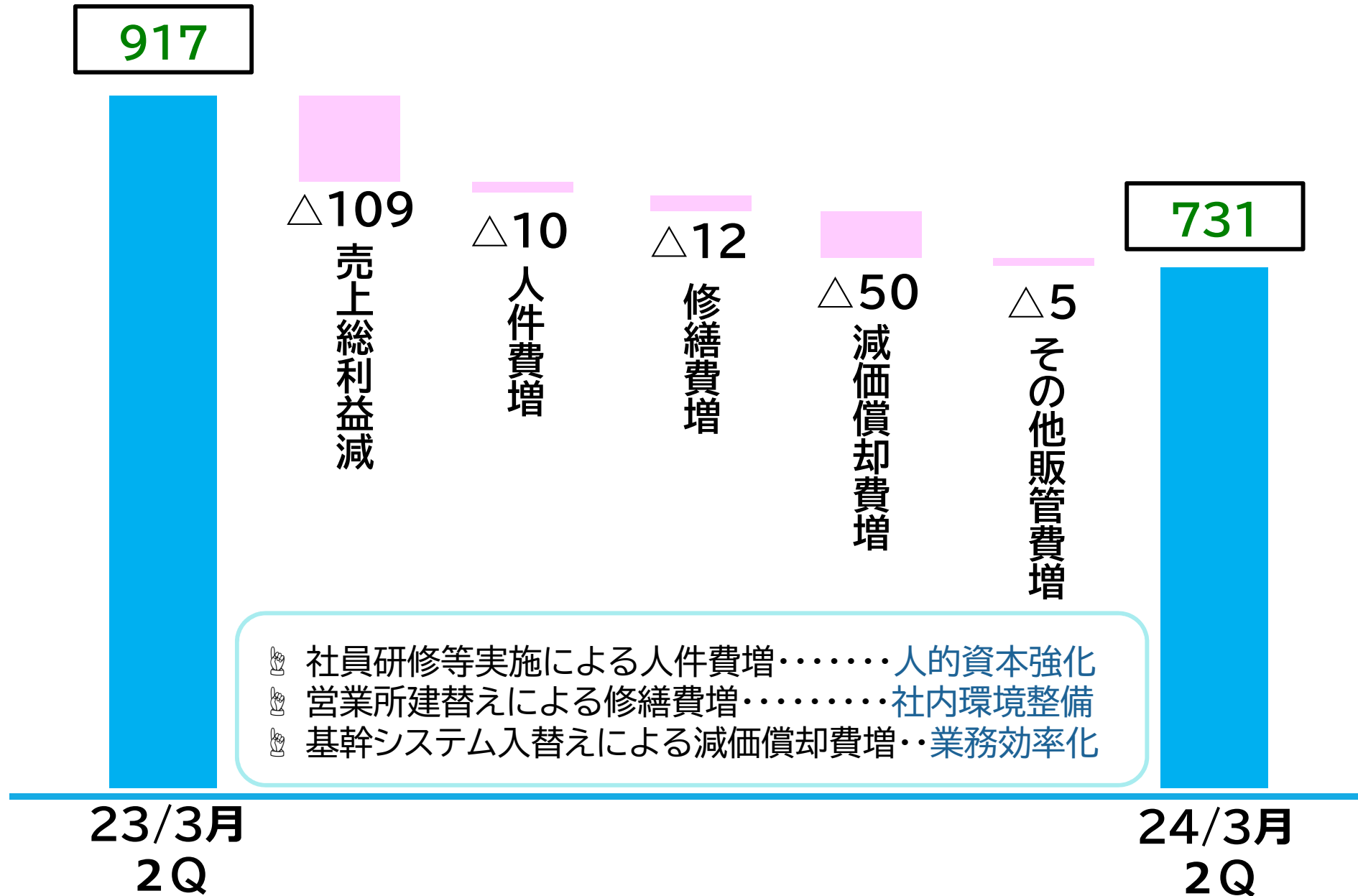
	23/3月期 2Q	24/3月期 2Q	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	15,072	13,807	△8.4%	国内は前期比で微減 中国市場では景気減速により、大きく減少
営 業 利 益	917	731	△20.3%	販売管理費が、前期比6.2%増加 売上総利益率は前期比0.5ポイント増
営 業 利 益 率	6.1%	5.3%		
経 常 利 益	982	780	△20.5%	
経 常 利 益 率	6.5%	5.7%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	679	537	△20.9%	
四半期純利益率	4.5%	3.9%		

## Point!

- メモリ半導体の需要低迷が継続し、半導体関連取引先への売上が低迷
- 自動車関連は、電池関連の設備投資が順調に推移

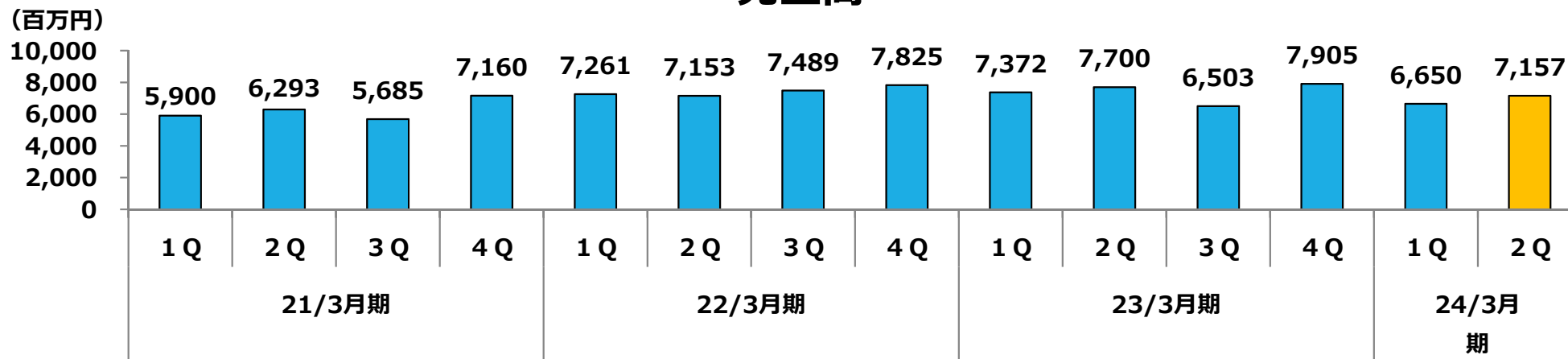
## <連結営業利益増減分析>

(単位:百万円)

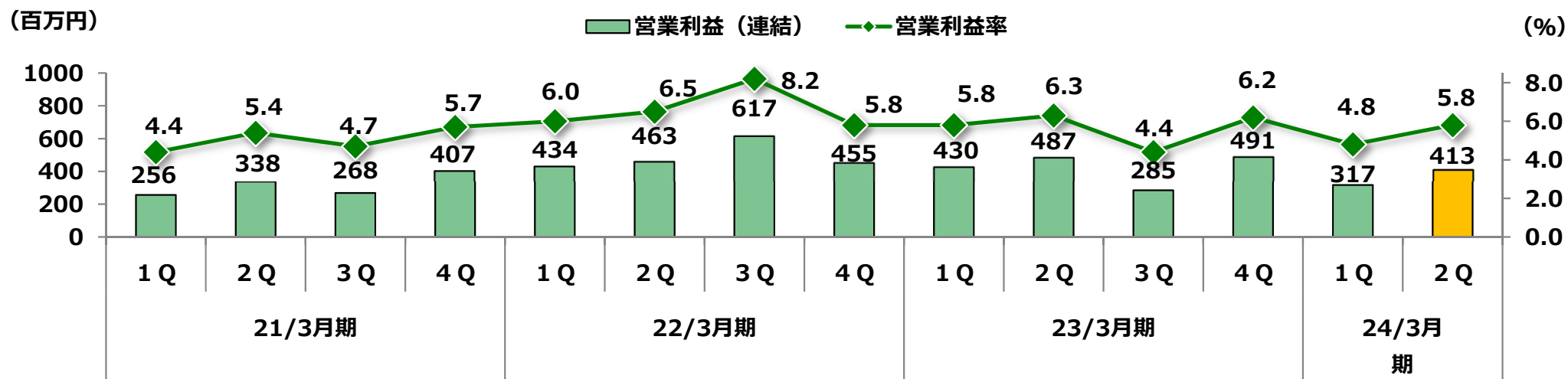


## <四半期毎の売上高・営業利益(連結)の推移>

### 売上高



### 営業利益(連結)/営業利益率



**Point!**

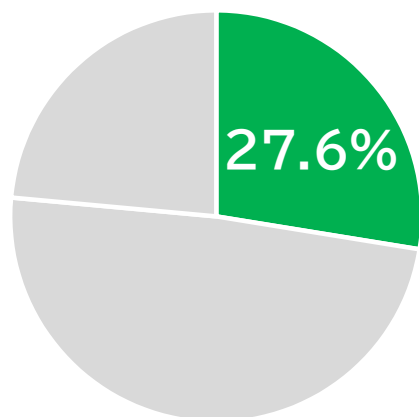
- 前期より、電子部品/半導体関連得意先への売上低迷も今期2Qで若干の持ち直し
- 営業利益も同様の傾向で推移

## <部門別実績>

### 制御機器

連結売上高

**38億5百万円**



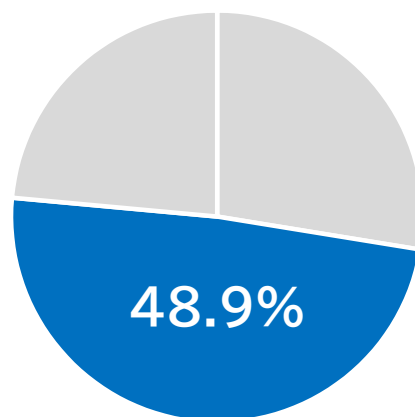
得意先の業種

デジタル機器/半導体・液晶製造装置/基盤実装機/自動車・車載部品/工作機械等

### FA機器

連結売上高

**67億52百万円**



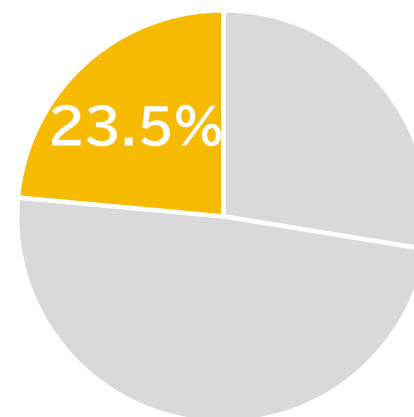
得意先の業種

デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/OA機器/医療機器/食品機器等

### 産業機器

連結売上高

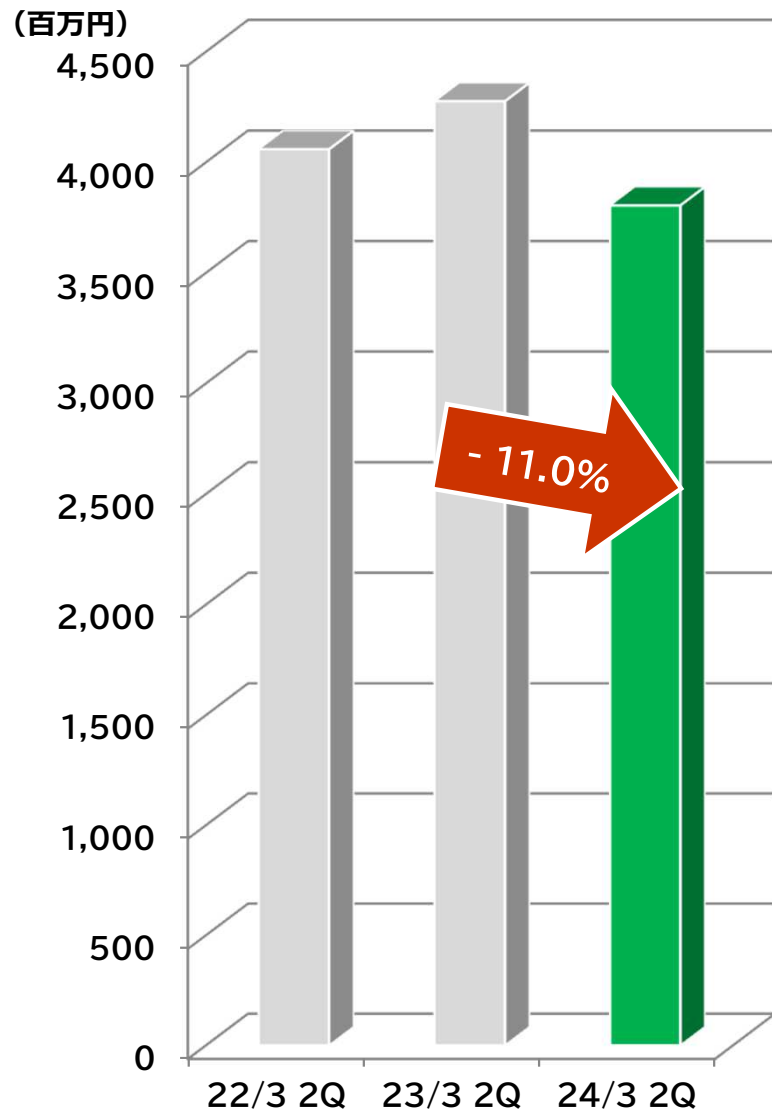
**32億50百万円**



得意先の業種

デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/精密機器等

## <部門別連結売上高推移>



## 制御機器

メモリ半導体の需要が伸び悩み、  
半導体及び半導体・液晶製造装置  
や電子部品関連向けの販売が低迷

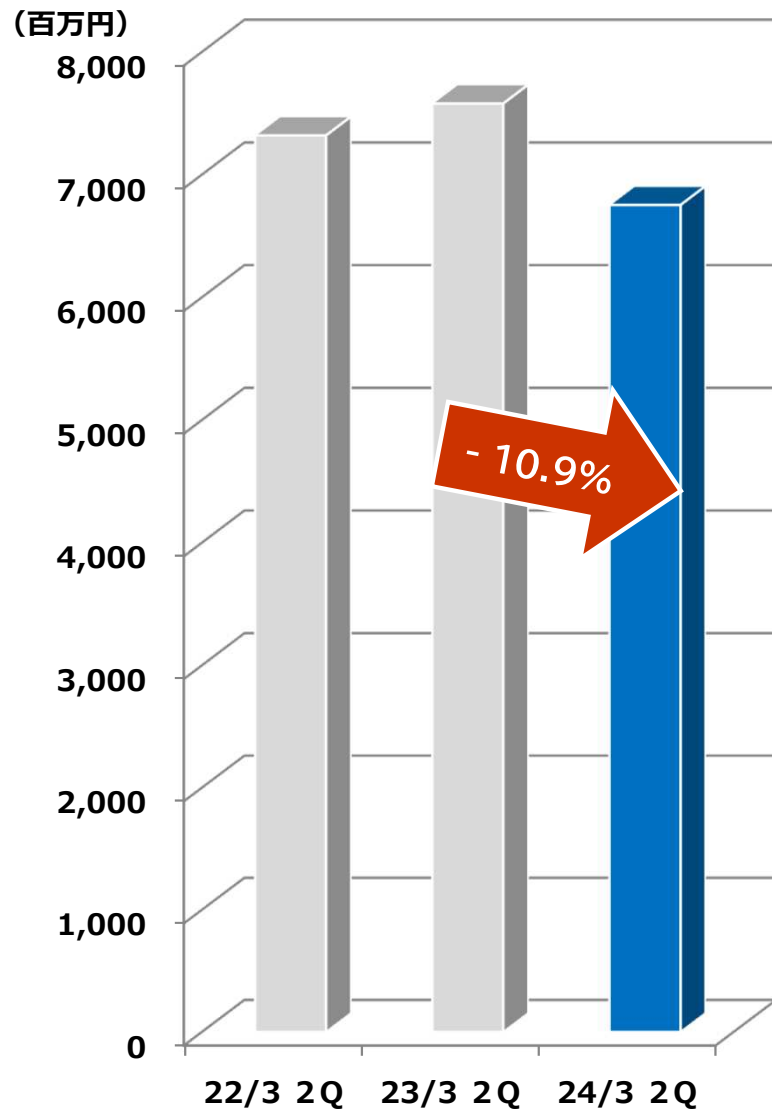
### 主な商材

- ・空気圧機器
- ・電子センサー
- ・圧力センサー
- ・流体継手
- ・真空機器
- ・緩衝器 等





## <部門別連結売上高推移>

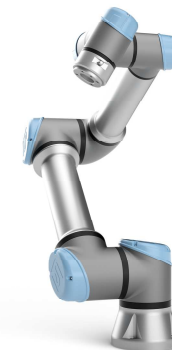


## F A 機器

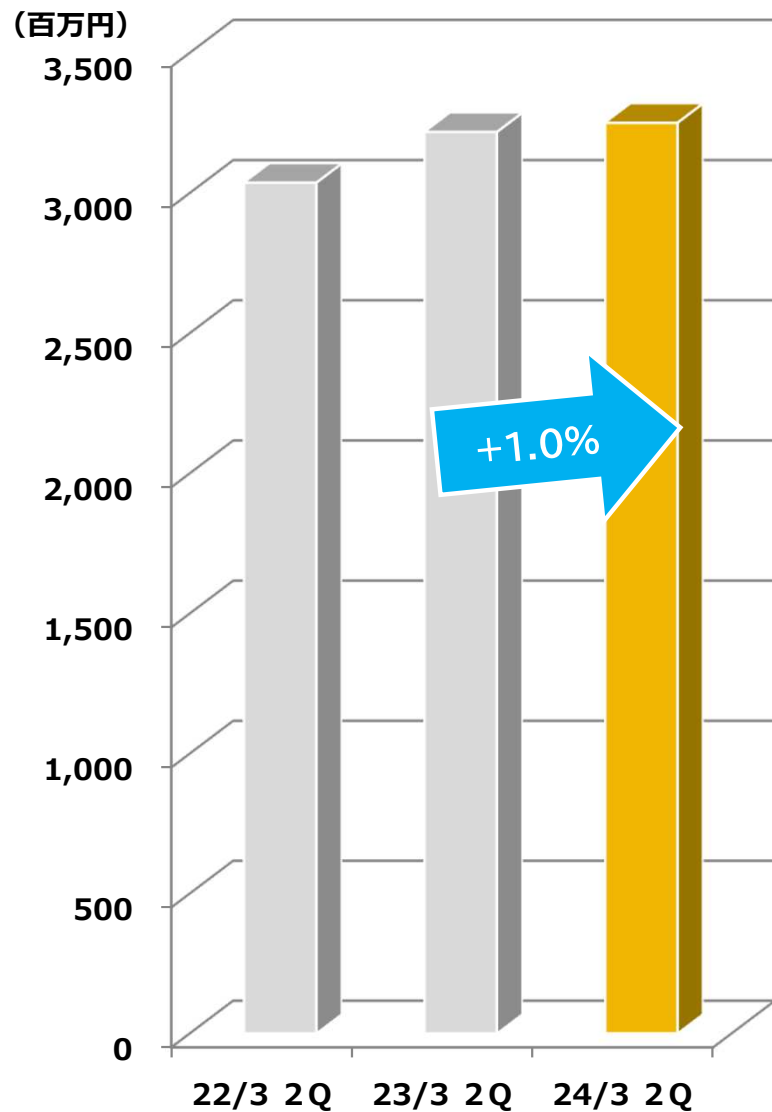
国内の自動車関連向けの販売が堅調であった一方、中国での電子部品関連向けの販売は低迷

### 主な商材

- ・産業用ロボット
- ・自動組立機
- ・表面実装システム
- ・レーザー加工機
- ・精密塗布装置 等



## <部門別連結売上高推移>



## 産業機器

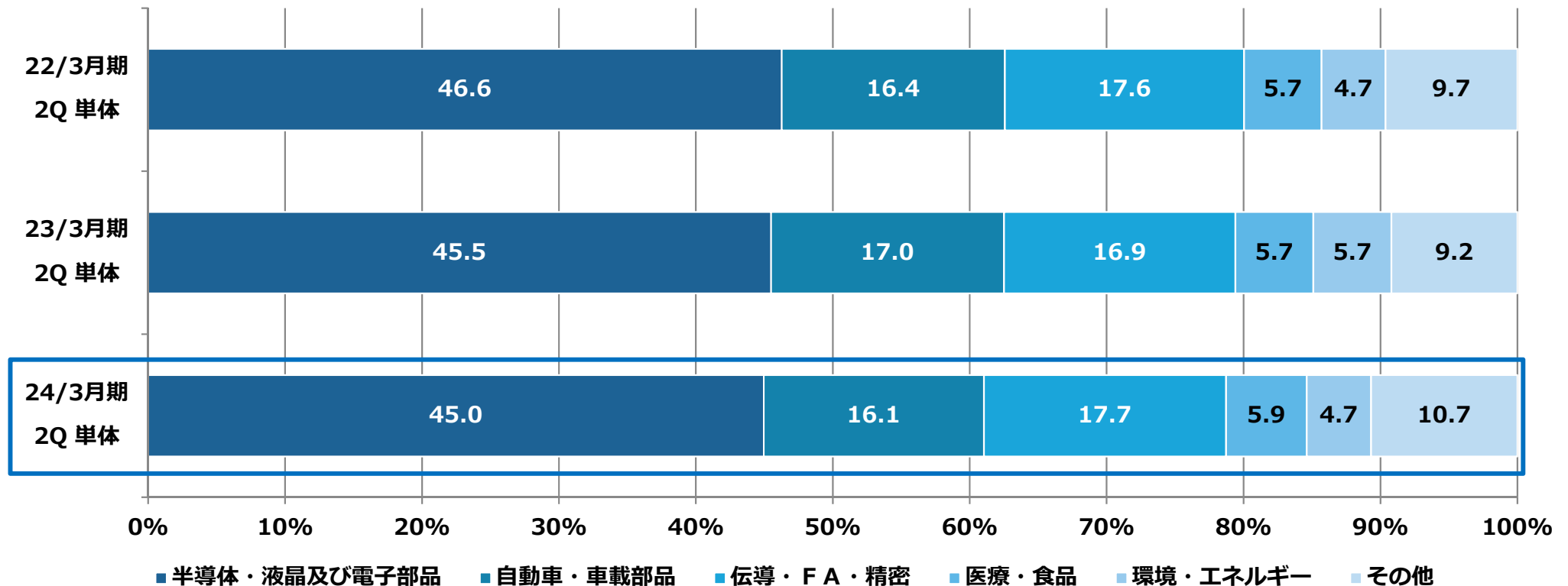
半導体関連向けのろ過フィルター  
及び自動車関連向けナット締め装置  
の販売が好調に推移

### 主な商材

- ・電動ドライバー
- ・アルミフレーム
- ・無人搬送車
- ・コンベヤ
- ・揚重機
- ・ろ過フィルター
- ・環境システム 等



## <業種別売上構成比(単体)推移>



### Point!

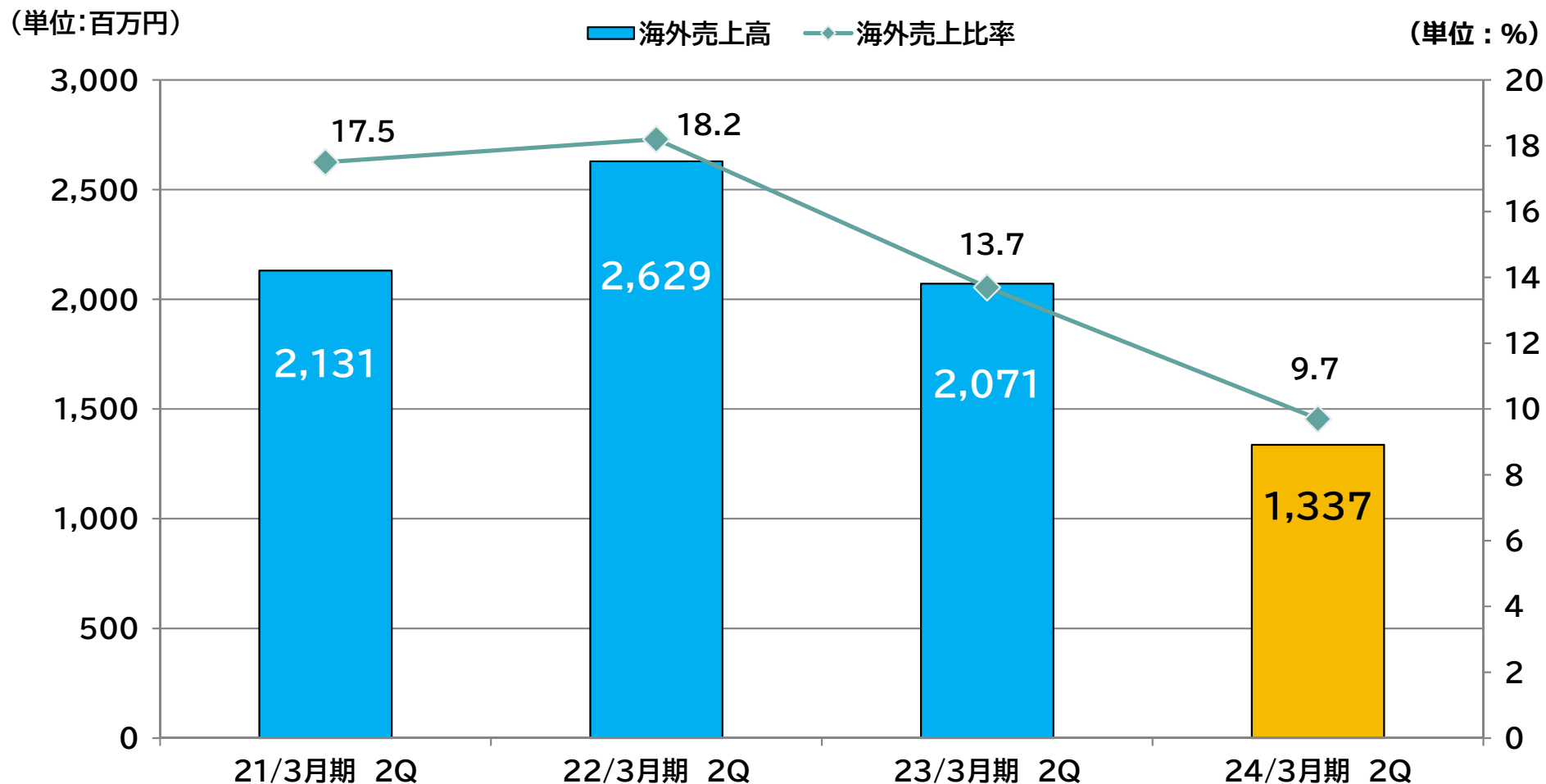
#### <半導体・液晶及び電子部品>

パソコン及びスマートフォン等のデバイス市場低迷の影響を受け、販売が減少(△0.5P)

#### <自動車・車載部品>

半導体不足緩和による自動車生産台数の回復と電気自動車関連の設備投資需要増も、前年同期の大口案件が減少し構成比減少(△0.9P)

## <海外売上高・海外売上比率>



### Point!

- 中国における個人消費が停滞し、鳥羽(上海)貿易有限公司におけるスマートフォン関連向け顧客へのロボット関連商材の販売が大きく減少

## &lt;連結貸借対照表の概要&gt;

(単位:百万円)

	23/3月末	構成比 (%)	23/9月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	22,595	77.6	22,974	77.3	
現金・預金	11,012	37.8	12,211	41.1	
受取手形・売掛金 ※電子記録債権を含む	11,084	38.0	10,343	34.8	
商品	363	1.2	342	1.2	
固定資産	6,528	22.4	6,743	22.7	
資産合計	29,124	100.0	29,718	100.0	
流動負債	8,920	30.6	9,258	31.2	
支払手形・買掛金 ※電子記録債務を含む	8,099	27.8	8,644	29.1	
固定負債	403	1.4	479	1.6	
負債合計	9,324	32.0	9,737	32.8	
純資産合計	19,799	68.0	19,980	67.2	
負債純資産合計	29,124	100.0	29,718	100.0	

## Point!

- 構成比に大きな変化はございません。

## Ⅱ. 今後の戦略及び見通し

### <2024年3月期の見通し>

#### ◆ 経済活動の状況

国内は、インバウンド需要等で個人消費は回復傾向で推移するものの、物価高の影響もあり、企業の設備投資マインドは先行き不透明。

#### ◆ 半導体関連

スマホ、PC関連向けメモリー半導体需要や各種設備投資マインドは改善傾向。車載向け等のパワー半導体は設備投資含め需要が好調に推移する見込み。

#### ◆ 自動車・車載部品業界

車載向け半導体、原材料及び部材不足は解消されつつあるが、原材料価格の高騰による影響は継続する見込み。車載電池関連の設備投資は継続して好調。

#### ◆ 地政学的リスク

米国主導の対中半導体輸出規制、中国での需要減速、ロシア・ウクライナや中東地域での紛争等の長期化、エネルギー資源高騰等による景気低迷の懸念あり。

### <2024年3月期の戦略>

1. 次世代の柱となるユーザー新規開拓、育成
  - ・積極的な展示会出展と来場者フォローによる新規顧客開拓
2. 新商材発掘(SDGs/環境や人にやさしい商品)
  - ・環境負荷や労働負荷を低減できる新たな商材の発掘
3. 装置ビジネスの更なる販売強化
  - ・労働力不足を補う自動化機器とロボットの販売強化
4. 技術商社としての存在価値強化
  - ・各種専門資格等の取得による提案型営業の推進
  - ・人的資本経営推進 社員研修等による人材の育成
5. 海外拠点との連携強化
  - ・新規海外拠点の検討





### <次世代の柱となるユーザー新規開拓、育成>

#### ● 第3回 工場内の協働ロボット利活用展

開催日：2023年7月26日～28日

会 場：東京ビッグサイト

来場者数：1,860名

#### ● 第26回 関西機械要素技術展

開催日：2023年10月4日～6日

会 場：インテックス大阪

来場者数：2,582名



当社ブースの様子

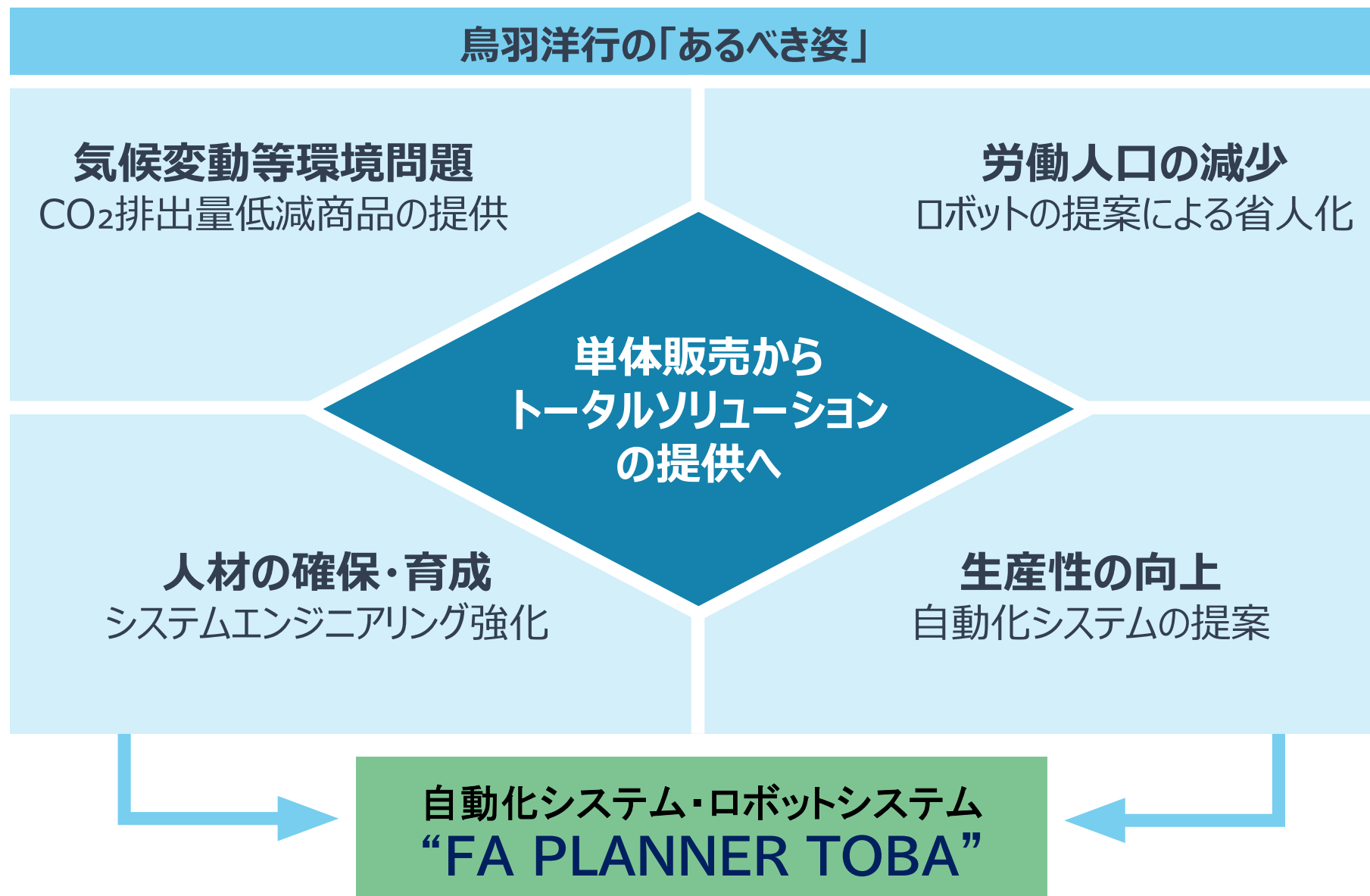
当社の取扱い商品や事業内容を紹介し、商談を行いました。今後の注力商品についてもデモ機実演を交えて紹介し、具体的な引き合いを多数いただきました。

ご来場いただいた方々へのフォロー活動を実施し、今後の取り引き拡大へ努めています。

今後も大型展示会に出展し、売上規模拡大や新規顧客開拓を取り組み、企業価値の向上を目指します。

### <装置ビジネスの更なる販売強化>

当社の「あるべき姿」を求め、激変する多様な課題に対応



## <2024年3月期の連結業績予想>

(単位:百万円)

	第74期 (2023年3月期) 実績	第75期 (2024年3月期) 計画	前期比 (増減率)
売上高	29,482	30,000	1.8%
営業利益	1,694	1,800	6.2%
営業利益率	5.7%	6.0%	0.3P
経常利益	1,800	1,900	5.5%
経常利益率	6.1%	6.3%	0.2P
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,429	1,290	△9.8%
当期純利益率	4.8%	4.3%	△0.5P

## <中期経営計画「Next Stage 2026」について>

経営理念を軸とし、中期経営計画を策定し、事業活動を通じて企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

(単位:百万円)

	計画		
	第75期 (2024年3月期)	第76期 (2025年3月期)	第77期 (2026年3月期)
売上高	30,000	33,000	36,000
営業利益	1,800	2,060	2,280
経常利益	1,900	2,160	2,380
当期純利益	1,290	1,480	1,630

### Point!

- 2023年8月9日、新たに2024年～2026年の3ヶ年計画をリリース
- 今期目標数値:売上高300億円達成に向けて進捗中

※当社グループは、経営環境の変化等に対応すべく、「ローリング方式」により、中期経営計画を毎年度策定することとしております。

### <資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応>

当社は、経営指標の目標として ROE 8%以上 を掲げております。これまで継続的に目標を達成できておりませんが、当社資本コストを常に上回る水準で推移しております。

なお、当社の資本コストは一般的な計算方法で算出しており、複数の第三者(主に金融機関)による算出数値と照合を行うことで概ね妥当性を担保していると考えております。

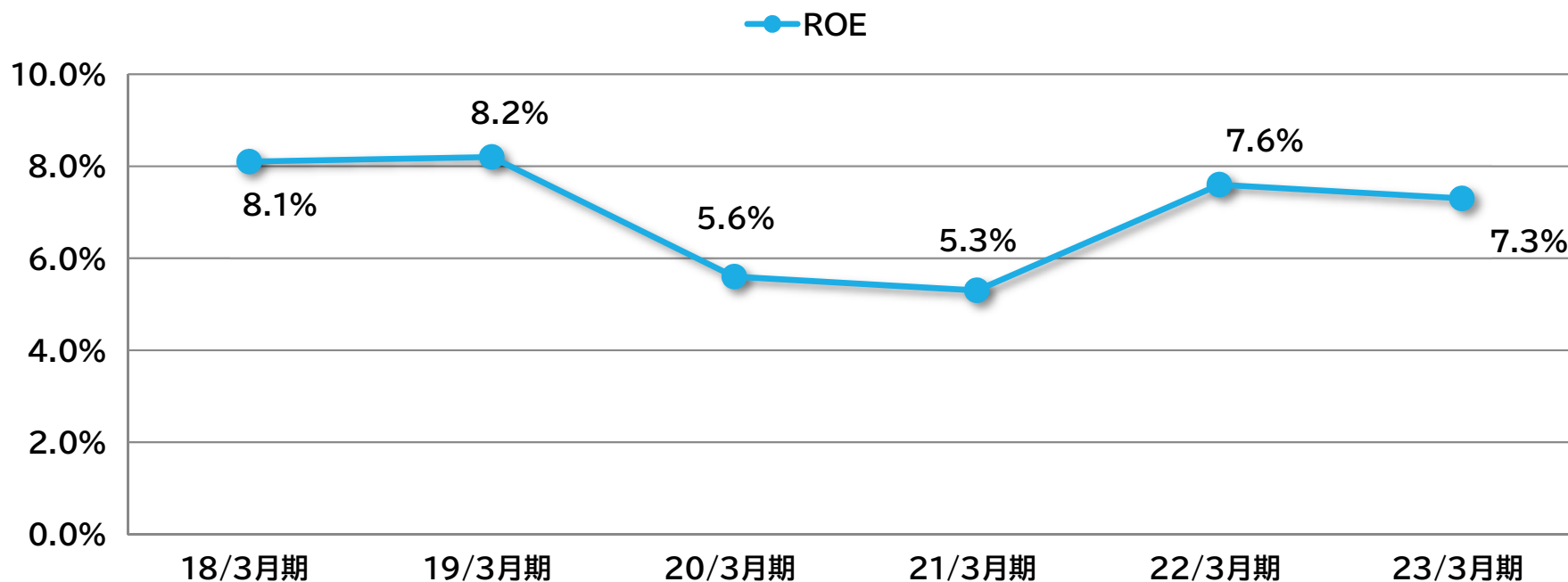
一方、PBR(株価純資産倍率)については1倍を下回っている状況であり、この状況について取締役会において今後の対策を次のように検討しております。

- ① 収益性と経営基盤の強化については、営業効率の向上や社員教育等の人的資本への投資等、適切な経営資源の配分を行う。
- ② 株主還元については、配当方針(配当金1株40円を下限とし、配当性向35%以上)を継続し、適切な自己株式の取得を実施する。

以上の内容を中期経営計画へ反映し、経営環境の変化に応じた機動的な見直しを実施しながら経営指標の目標達成を目指してまいります。

## <ROEの推移>

～ 当社目標値 8.0% ～

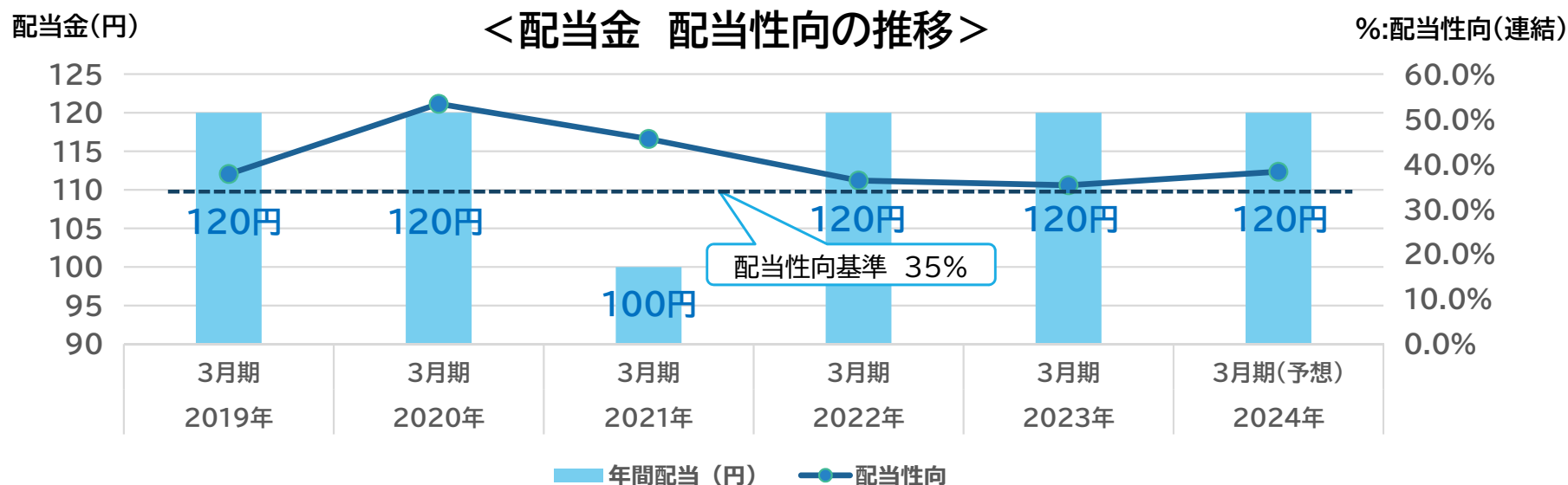


## <当社 経営指標>

売上高 (予想)	営業利益 (予想)	株価 (23/9月末)	年間配当 (予定)	配当性向 (予定)	配当利回り (予定)	ROE 自己資本利益率 (予想)	PER 株価収益率 (予想)	PBR 株価純資産倍率 (予想)
300億円	18億円	3,265円	120円	38.3%	3.7%	6.5%	10.4倍	0.67倍

## <株主還元について>

- ◆ 配当方針:長期的、安定的な利益還元の実施を目標とする
- ◆ 連結配当性向を35%以上とし、一株当たりの配当金を下限40円とする
- ◆ 自己株式の取得等の間接的な株主還元についても機動的に対応



## <自己株式の取得状況>

実施時期	取得株式数	取得単価	取得額	発行済み株式総数 に対する割合
2021年11月	70,000株	2,561円	179百万円	1.4%
2022年2月	50,000株	2,780円	139百万円	1.0%
2022年11月	145,000株	2,750円	398百万円	3.1%
2023年5月	33,800株	2,940円	99百万円	0.7%

この資料には、2023年11月8日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

### [問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行  
管理本部総務グループIR担当

住 所:〒112-0005  
東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号:03-3944-4031

F A X :03-3944-4091

E メール :kanri-01@toba.co.jp